

平成 29 年度 事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日)

〔公 1〕 吉川英治賞の授与

(イ) 吉川英治文学賞

吉川英治文学賞は平成 29 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに優秀な文学作品を発表した作家に授与しました。(第 52 回)

- ・ 選考委員… 浅田次郎、五木寛之 北方謙三 林真理子 平岩弓枝 宮城谷昌光
- ・ 賞… 正賞・賞牌／副賞・金参百万円

・ 選出方法

候補者の選出に遺漏のないよう、作家、画家、批評家及び各出版社の編集長、新聞社学芸部長・文化部長、ラジオ・テレビ・映画関係者、一般文化人等数百名の方々に文書で推薦を依頼しました。

推薦された作家は別に定めた本会の実施委員によって整理のうえ、数名を審議対象として選考委員会に提出し、選考委員は慎重審議の結果、次のように決定しました。

・ 本年度受賞者

帚木蓬生氏『守教（上・下）』（新潮社刊）

(ロ) 吉川英治文庫賞

吉川英治文庫賞は平成 28 年 12 月 1 日から翌年 11 月 30 日までに、文庫最新刊が刊行された作品のなかから、5 巻以上の複数巻で文庫を刊行している、最も優秀な大衆シリーズ文学作品を発表した作家に授与しました。(第 3 回)

- ・ 選考委員… 各出版社の代表者、識者、出版流通関係者等

- ・ 立会人… 逢坂剛、前年受賞者今野敏

- ・ 賞… 正賞・賞牌／副賞・金百万円

・ 選出方法

候補者の選出に遺漏のないよう、各出版社の代表者（各社 1 名）、識者、出版流通関係者等（約 50 名）に選考委員を依頼しました。

推薦された作家は事務局にて整理し選考委員に投票を依頼、数名を審査対象として事前に一般公表し、選考委員は慎重審議の結果、次のように決定しました。

・ 本年度受賞者

有栖川有栖氏『「火村英生」シリーズ』（角川文庫・幻冬舎文庫他刊）

(ハ) 吉川英治文学新人賞

吉川英治文学新人賞は平成 29 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに新聞、雑誌、単行本等に優秀な小説を発表した作家の中から、最も将来性のある新人作家に授与しました。(第 39 回)

- ・ 選考委員… 伊集院静 大沢在昌 恩田陸 京極夏彦 重松清

- ・ 賞… 正賞・賞牌／副賞・金百万円

・ 選考方法

候補者の選出に遺漏のないよう、作家、画家、批評家及び各出版社の編集

長、新聞社学芸部長・文化部長、ラジオ・テレビ・映画関係者、一般文化人等数百名の方々に文書で推薦を依頼しました。

推薦された作家は別に定めた本会の実施委員によって整理のうえ、数名を審議対象として選考委員会に提出し一般にも公表、選考委員は慎重審議の結果、次のように決定しました。

- ・本年度受賞者

佐藤究氏『Ank: a mirroring ape』（講談社刊）

（ハ）吉川英治文化賞

日本文化の向上に尽くし、讃えられるべき業績をあげながらも、報われることの少ない人、あるいは団体に授与しました。（第52回）

- ・選考委員…阿川佐和子、出久根達郎 堀田力 柳田邦男 吉川英明

- ・賞…正賞・賞牌／副賞・各金百万円

- ・選考方法

候補者の選出に遺漏のないよう広く文化人、各出版社の編集長、新聞社学芸部長・文化部長・報道部長、ラジオ・テレビ関係者、ならびに中央官庁、政府関係機関、公共企業体、地方公共団体等の関係者に文書で推薦を依頼しました。

推薦された候補者は別に定めた本会の実施委員によって整理のうえ、選考委員会に提出し、選考委員は慎重審議の結果、次のように決定しました。

- ・本年度受賞者

日本盲導犬協会「盲導犬、視覚障害者、社会の共生に尽力」

本多一夫氏 「小劇場ブームを起こし街の活性化に寄与」

村林孝夫氏 「白黒写真修復で画像を蘇生させる」

以上、吉川英治文学賞、吉川英治文庫賞、吉川英治文学新人賞、吉川英治文化賞は「吉川英治賞」として、平成30年4月11日帝国ホテルで贈呈式を実施しました。

〔公2〕吉川英治著作資料他の保存公開

故吉川英治が日本文化に及ぼした偉大な功績を記念して、近代文学に関する資料を収集保管し、かつ展示して一般の利用に供し文化の発展に寄与するため、記念館において資料の公開をしました。

また、今年度から多目的室（新館部分）を吉川英治賞関連の資料の一部を展示するほか、図書閲覧室として公開しました。

- ・本年度入館者数 4,154名（対前年比86.9）

（■常設展・企画展について）

①平成29年〔春季〕〈3月1日（水）～5月31日（水）〉

- ・常設展1：「『吉野梅郷、梅再植樹記念 梅と吉川英治』展」

（吉川英治の残した梅の俳句、川柳、詩歌、書画等を展示）

- ・常設展2：「『吉川英治記念館開館四〇年をふりかえって』展」

（開館以来の展示及び活動を振り返り特集展示。）

② 平成 29 年 [秋季] (9 月 1 日 (木) ~ 11 月 30 日 (水))

・常設展 1: 『『追悼・杉本苑子』展』

(杉本苑子が吉川英治の元で修行をしていた時代の資料を展示)

・常設展 2: 『『吉川英治の翻訳小説』展』

(戦後世界に広がった翻訳作品を紹介 (ジヤパンタイムズ 提供))

③ 平成 30 年 [春季] (3 月 1 日 (木) ~ 6 月 30 日 (土))

・常設展: 『『最終回で見る吉川作品』展』

(各作品の最終稿を取り上げ、そこに込められた吉川英治の想いを紹介)

〈■企画・イベント・制作等について〉

④ 平成 29 年 4 月 22 日 (土) 「第 8 回草思堂落語会」(午後 2 時、於母屋)

文子夫人を偲び落語会を実施。柳家禽太夫 [公募 50 名/参加者 37 名・参加費 2000 円]

⑤ 平成 29 年 6 月 10・11・17・18 日の 4 日間

「旧吉川邸を隅から隅まで見てみよう」(午後 1 時、於母屋) [公募各 15 名/参加者平均 16 名・参加費 600 円・入館料、資料代含]

⑥ 平成 29 年 10 月 14 日 (土) 「酒井和嘉子二胡演奏会」(午後 2 時、於母屋)

二胡奏者酒井和嘉子と楊琴奏者張林の演奏会。

[公募 50 名/参加者 28 名・参加費 2500 円]

⑦ 平成 29 年 7 月 22 日 (土) 「第 11 回文学散歩・吉川英治と関東大震災 向島編」

吉川英治が上京して初めて暮らした家周辺や小説の舞台となった地を探訪。[公募 20 名/参加者 15 名・参加費 1000 円資料・見学施設入場料含]

⑧ 平成 29 年 9 月 7 日 (木) 「英治忌」

吉川英治の命日の集い、母屋他を公開して抹茶・樽酒・冷茶を提供。[一般告知/参加者有料 95 名、招待 106 名]

⑨ 平成 29 年 10 月「草思堂菊花展」

(主催・青梅秋香会/協賛・記念館館長賞及び会場提供) [参加者一般]

⑩ 平成 29 年 12 月 2 日 (土) 「第 12 回文学散歩・吉川文学の原点 上野編」

吉川英治に作家となる決意をさせた地といわれる上野周辺の痕跡を探訪。[公募 20 名/参加者 13 名・参加費 2500 円多館入場料含]

⑪ その他

〈■資料等の制作及び補修関係について〉

・『吉川英治小説作品目録』増補改訂版 (三訂) を発行

・『吉川英治記念館オリジナル特製切手シート』制作販売

・原稿資料の脱酸処理はありません。(平成 26 年に資料庫内燻蒸実施済)

〈■営繕等について〉

・平成 30 年 1 月 記念館消防用設備指摘事項改修

(感知器・誘導灯器具交換、自動火災報知器・蓄電器電池交換)

・平成 30 年 1 月 母屋風呂場水栓交換及び、トイレ漏水修理

・その他

[収1]「音羽YFビル」の賃貸事業

公的目的事業推進達成のための不動産（事務室ビル・駐車場・広告塔）の賃貸事業を下記のとおり実施しました。

賃貸状況

- ・ビル所在地： 東京都文京区水道2-9-2（地上8階地下1階）
- ・ビル竣工： 平成2年（築28年）
- ・事務室賃貸： キングレコードグループ（全室）継続
- ・駐車場： 同上（3台）継続
- ・広告塔： キングレコード（1件） 継続

修繕状況

- ・平成29年9月 消火器更新工事（定期）
- ・平成29年12月 室内機交換器薬品洗浄工事（5階）
- ・平成30年1月 ビル入口、自動ドア機器交換工事
- ・その他

以上

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
I 資金の部		
1 流動資産		
流動資産合計	29,610,718	
2 固定資産		
(1) 基本財産	43,072,916	
(2) 特定資産	177,245,523	
(3) その他固定資産	979,656,106	
固定資産合計	1,199,974,545	
資産合計	1,229,585,263	
II 負債の部		
1 流動負債		
流動負債合計	837,894	
2 固定負債		
固定負債合計	43,013,568	
負債合計	43,851,462	
III 正味財産の部		
1 指定正味財産		
(うち基本財産への充当額)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	
指定正味財産合計	152,026,312	
2 一般正味財産		
(うち基本財産への充当額)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	
一般正味財産合計	1,033,707,489	
正味財産合計	1,185,733,801	
負債及び正味財産合計	1,229,585,263	

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
I 一般正味財産増減の部		
1 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 特定資産運用益	39,875	
② 事業収益		
文学資料ほか公開事業収益	2,335,935	
不動産貸付事業収益	47,962,465	
事業収益計	50,298,400	
③ 雑収益	510,483	
経常収益計	50,848,758	
(2) 経常費用		
① 事業費		
吉川英治賞事業費	28,650,609	
文学資料ほか公開事業費	26,872,650	
不動産貸付事業費	15,251,623	
事業費計	70,774,882	
② 管理費	1,075,084	
経常費用計	71,849,966	
当期経常増減額	△ 21,001,208	
2 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	6,044,328	
(2) 経常外費用	0	
当期経常外増減額	6,044,328	
法人税・住民税及び事業税	70,000	
他会計振替額	0	
当期一般正味財産増減額	△ 15,026,880	
一般正味財産期首残高	1,048,734,369	
一般正味財産期末残高	1,033,707,489	
II 指定正味財産増減の部		
一般正味財産への振替額	△ 6,044,328	
当期指定正味財産増減額	△ 6,044,328	
指定正味財産期首残高	158,070,640	
指定正味財産期末残高	152,026,312	
III 正味財産期末残高	1,185,733,801	